

2022～2025 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

研究機関名： 弘前大学大学院医学研究科
社会医学講座
研究責任者： 井原 一成

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： ビタミン B 摂取と無気力との関係性に腸内細菌が与える媒介効果の解析

研究の目的

本研究では、2022～2025 年の岩木健診データを用いて、食品摂取頻度調査（FFQ）によるビタミン B 群（ビタミン B1、B2、B9（葉酸）、B12 等）摂取量と無気力症状との関連を明らかにするとともに、その関連における腸内細菌叢の媒介効果を検討します。さらに、腸内細菌叢の構成および機能的特徴を踏まえ、ビタミン B 群摂取が無気力症状に及ぼす影響に関与する潜在的な生活習慣関連因子を探索します。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2028 年 3 月 31 日

対象となる方： 2022～2025 年の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者井原一成の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

2022～2025 年岩木プロジェクト健診から収集した以下のデータを研究対象としています。

- ☐ 【調査項目】
- ☐ 個人記録票（年齢、性別、身長、体重、社会経済状況、社会的な状況について）
- ☐ 健康調査票（食物摂取頻度調査（FFQ）、日常生活活動（SF-36 等）、既往歴（心血管疾患、糖尿病など）について等）
- ☐ 血液（H b A 1 c など）
- ☐ アパシー（Dimensional Apathy Scale）
- ☐ うつ（CES-D）
- ☐ 腸内細菌叢

研究代表者の井原は、仮名化された診断情報および疫学調査データの提供を受け、弘前大学の社会医学講座において研究分担者とともにデータ解析を行います。

まず、食品摂取頻度調査（FFQ）によるビタミン B 群摂取量と無気力症状との関連について、交絡要因を調整した回帰分析および一般線形モデルを用いて検討します。

次に、ビタミン B 群摂取と無気力症状との関連を基盤として、腸内細菌叢がその関連において果たす役割を検討するため、媒介分析を用いて媒介効果を評価します。

さらに、関連する生活習慣要因について探索的に検討します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定されることはありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科社会医学講座 教授・井原 一成 住所 〒036-8562 青森県弘前市在府町 5 電話 +81-172-39-5041 Email soc-med@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205